



CellSource

# 2026年10月期第2四半期 決算説明資料

セルソース株式会社（東証スタンダード 4880）

2026年6月10日

## 強固な経営基盤の構築と、業績改善の進展

当社は2026年3月、東京証券取引所スタンダード市場への移行を実現いたしました。これは、当社の成長可能性および経営基盤が市場から評価された結果であると認識しております。新体制発足以降、私自身が責任を持って推進してきた「100日プラン」を着実に実行し、組織改革および収益構造改革を完遂してまいりました。その成果は、本第2四半期業績において明確に表れております。

販管費のコントロール継続により、利益創出力は第1四半期に続き大幅な改善基調で推移しております。加工受託サービスは血液由来9,596件と前年同期比で安定的に推移しております。

研究開発・技術実装面では、本年第3第4四半期に向けた新しいエクソソーム加工技術の医療機関への提供、および新しい培地による幹細胞培養技術の革新(無血清培地対応 ASC 等)について、すでに公表している計画通りに進捗しております。

	FY10/2025 Q2 累計	FY10/2026 Q2 累計	前年同期比
売上高	18.2億円	<b>17.7億円</b>	-2.5%
売上総利益	10.2億円	<b>10.4億円</b>	+2.3%
営業利益	0.1億円	<b>1.2億円</b>	<u>+636.3%</u>
四半期純利益	0.1億円	<b>0.7億円</b>	<u>+537.2%</u>

### FAST CLINIC 第一号医療機関への運営支援を6月1日より開始

事業ポートフォリオ再構築では、Wellness & Longevity 領域の中核となる「FAST CLINIC」事業について、本年6月1日より第一号医療機関への運営支援を開始し、FC 展開を本格化させております。コンシューマー領域では新規事業「PAJUU」が4月より開始し、引き続き事業展開を進めてまいります。

これらの成果は、「100日プラン」で完遂したコスト構造正常化と、加工受託・医療機関支援を中心とした基盤事業の収益安定性向上が、定量的に表れた結果であると認識しております。

## Wellness & Longevity 業態転換と、「もう一つの社会実装ルート」

本中計期間において、当社は単なる「再生医療」の枠を超え、Wellness & Longevity を新たな事業ドメインとして再定義してまいります。健康な人がより健康な状態を維持し、健康寿命を全うできるよう設計された医療・サービス・データ基盤の総体として、当社の事業を位置付け直します。中核技術である細胞治療を軸に、変形性関節症をはじめとする慢性疾患、お肌のメンテナンス医療、生殖補助医療、健康長寿の各領域に事業を展開してまいります。

創薬による薬事承認・保険収載という主流の社会実装ルートを補完するため、当社は「もう一つの社会実装ルート」の確立を本中計の戦略的中核に据えます。再生医療等安全性確保法をはじめとする自由診療の枠組みを活用し、提携医療機関ネットワーク『約 2,200 施設』からリアルワールドデータを継続的に蓄積し、AI で分析・標準化し、現場プロトコルへ還元するサイクルを回し続けることで、治療プロトコルを継続的に進化させてまいります。これは、創薬に要する10~15年の歳月とは異なる、より速く、より柔軟な細胞治療の社会実装ルートであり、当社が日本の医療産業の中で担うべき固有の役割であると認識しております。

引き続き持続的な企業価値向上に向け、結果で応えることを経営の中核に据え、株主・投資家・提携医療機関・社員、そして患者さんに対し、責任を持って取り組んでまいります

セルソース株式会社 代表取締役社長 CEO(医師) 山川 雅之

第1部

2026年10月期 第2四半期業績

第2部

主要施策と進捗

# 第1部

## 2026年10月期 第2四半期業績

## 売上高

**17.7** 億円  
(前年同期比-2.5%)

## 売上総利益

**10.4** 億円  
(前年同期比+2.3%)

## 営業利益

**1.2** 億円  
(前年同期比+636.3%)

## 四半期純利益

**0.7** 億円  
(前年同期比+537.2%)

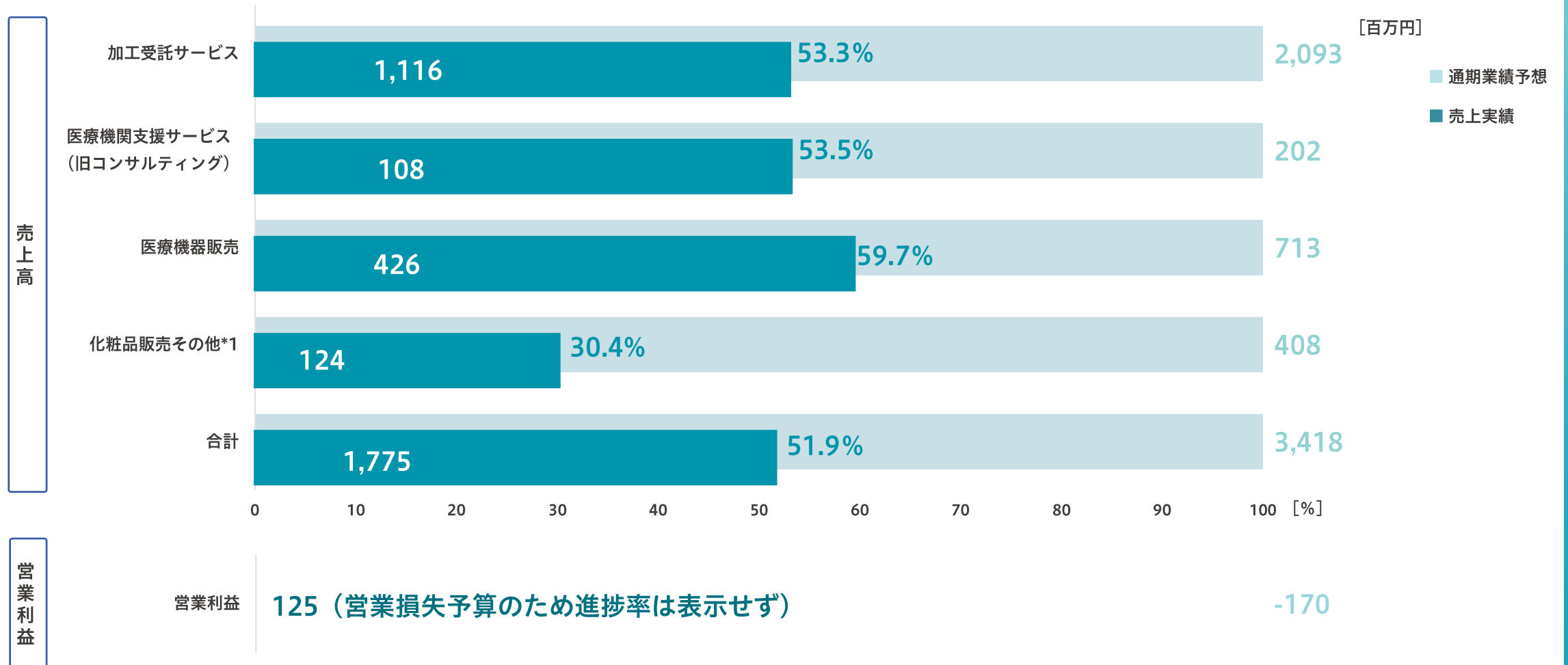
## 血液由来 加工受託件数

**9,596** 件  
(前年同期比+0.2%)

## 脂肪由来幹細胞 加工受託件数

**518** 件  
(前年同期比-28.7%)

Q2売上高は概ね計画通りに進捗。化粧品販売その他では新規事業「PAJUU」が4月より開始した。販売管理費のコントロール継続により、営業利益はQ1に続き黒字で着地



\*1:化粧品販売その他の新規事業は第2四半期（4月）から開始

前Q比は売上高が順調に推移、計画的なコストコントロールにより増収増益  
前年同期比では加工受託サービス、化粧品売上販売その他の売上が減少し、減収増益

[百万円]	FY10/2026 Q1	FY10/2026 Q2	前Q比	FY10/2025 Q2 累計	FY10/2026 Q2 累計	前年同期比
売上高	860	915	+6.5%	1,820	1,775	-2.5%
売上総利益	509	535	+5.1%	1,021	1,044	+2.3%
売上総利益率	59.2%	58.5%	-0.7pt	56.1%	58.8%	+2.7pt
営業利益	59	66	+10.8%	17	125	+636.3%
営業利益率	6.9%	7.2%	+0.3pt	0.9%	7.1%	+6.2pt
経常利益	59	56	-6.1%	18	115	+510.4%
四半期純利益	33	37	+11.8%	11	71	+537.2%

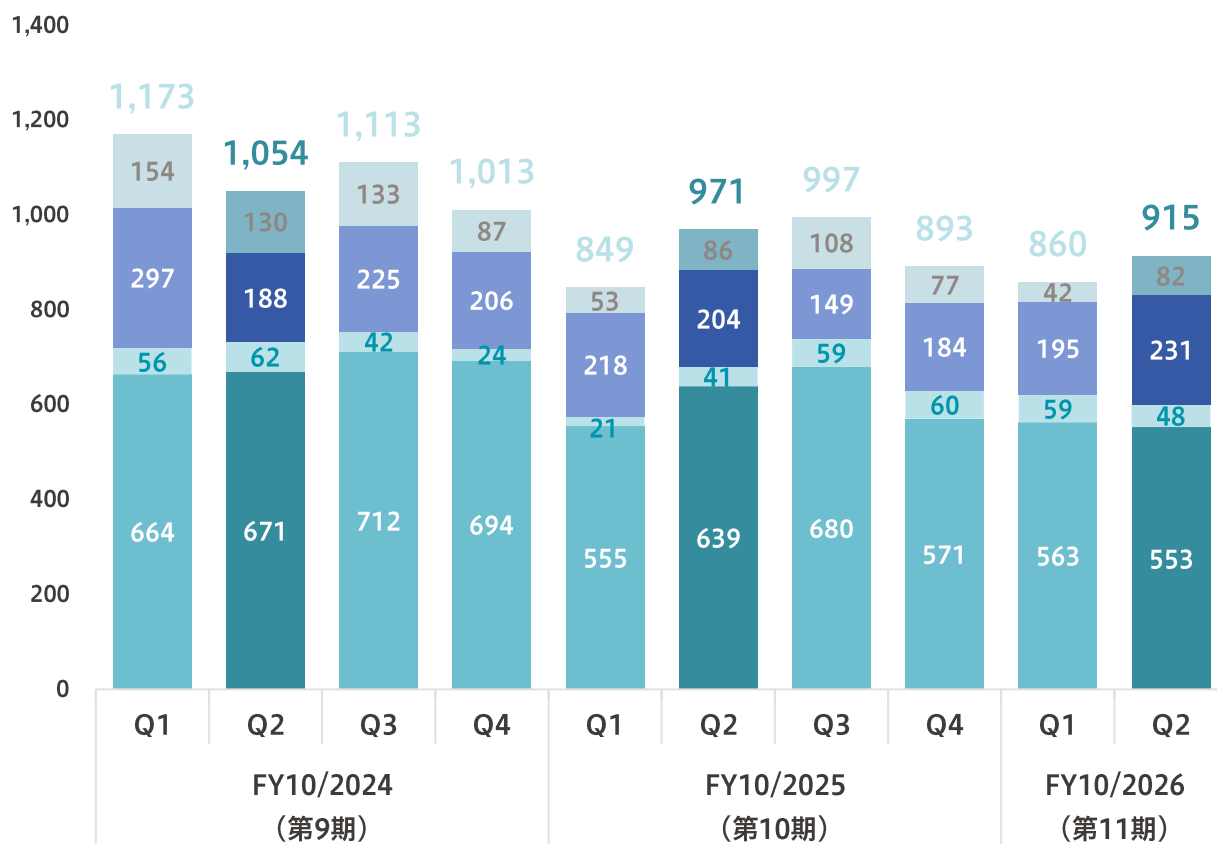
血液由来加工受託件数 (件)	4,747	4,849	+2.1%	9,577	9,596	+0.2%
脂肪由来幹細胞加工受託 件数 (件)	254	264	+3.9%	726	518	-28.7%

通期業績 予想	進捗率
3,418	51.9%
-	-
-	-
-170	-
-	-
-164	-
-136	-

- **売上高**：前Q比は各サービス堅調に推移し全体で6.5%増。前年同期比は化粧品販売その他、加工受託サービスの減少により2.5%減
- **売上総利益率**：前Q比はほぼ横ばい。前年同期比は拠点統合等により改善
- **営業利益率**：売上増、販売管理費の計画的な削減等により前Q比、前年同期比ともに改善
- **四半期純利益**：前Qに計上したりハスル事業の撤退による特別損失11百万円以外に大きな変動はなし
- **加工受託件数**：ハイブリッド型整形医療機関のオーダー増により血液由来加工受託件数は前Q比、前年同期比共に増。自費診療特化型医療機関の脂肪由来件数は前年同期比減少

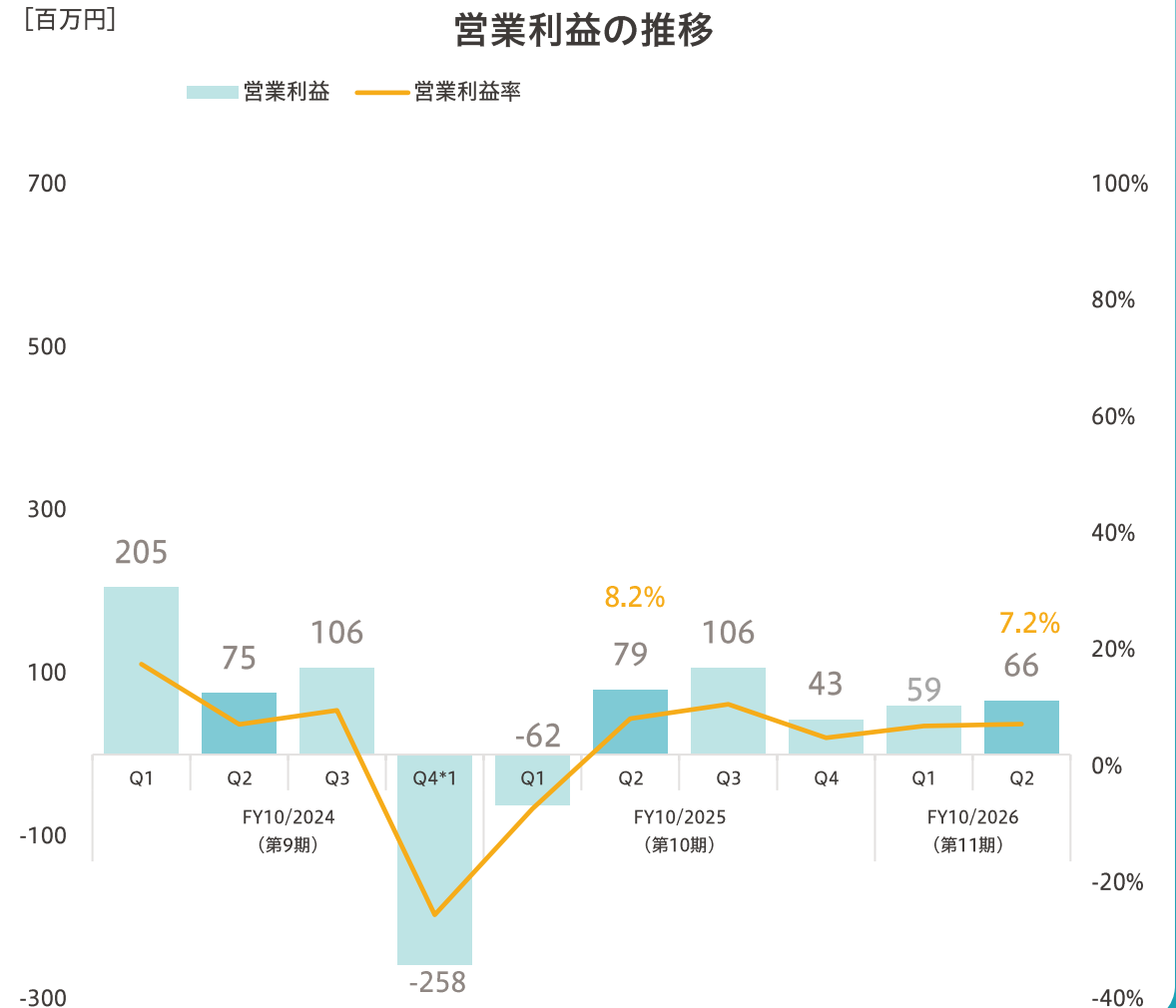
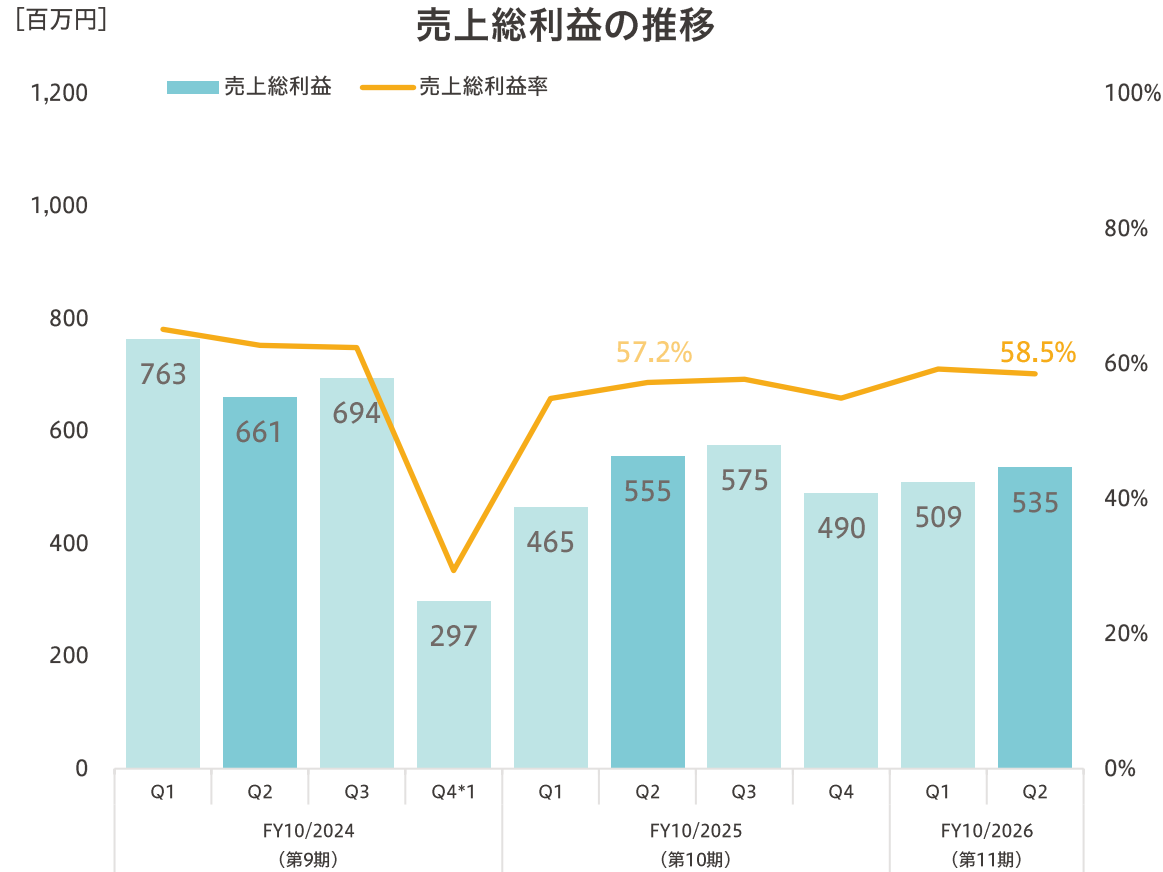
医療機関支援サービスは好調に推移するも、化粧品販売その他の伸び悩みおよび加工受託サービスにおける自費診療特化型整形外科向け売上の減少が影響し、累計期間における全体売上高は前年同期比で微減

- 化粧品販売その他
- 医療機器販売
- 医療機関支援サービス (旧コンサルティング)
- 加工受託サービス



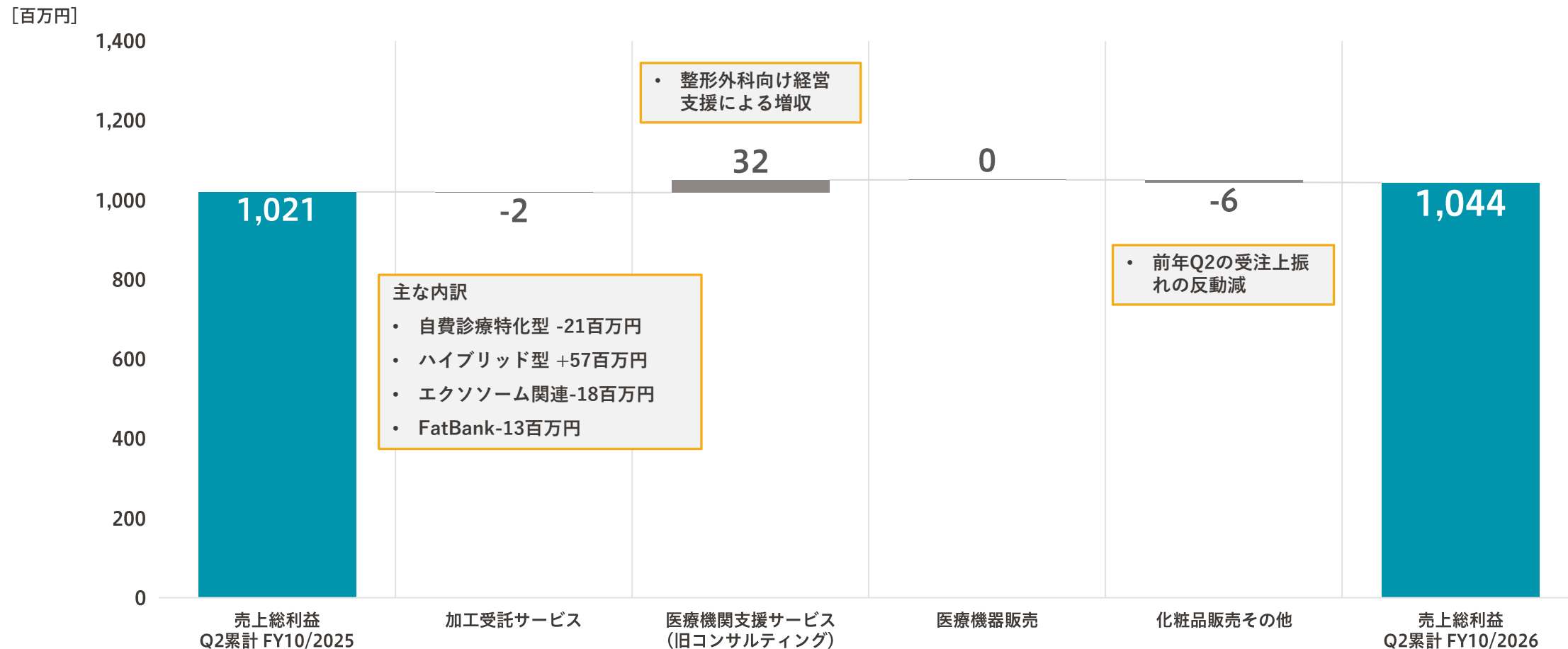
	前期Q2累計	当期Q2累計	前年同期比
合計	1,820	1,775	-2.5%
加工受託サービス	1,194	1,116	-6.5%
医療機関支援サービス (旧コンサルティング)	62	108	+72.7%
医療機器販売	422	426	+0.8%
化粧品販売その他	140	124	-11.2%

前Q比では増収およびコストコントロールにより、売上総利益・営業利益ともに増加。前年同期比では減収影響により減益となるも、売上総利益率は原価コスト削減により改善。営業利益率は先行投資影響により減少

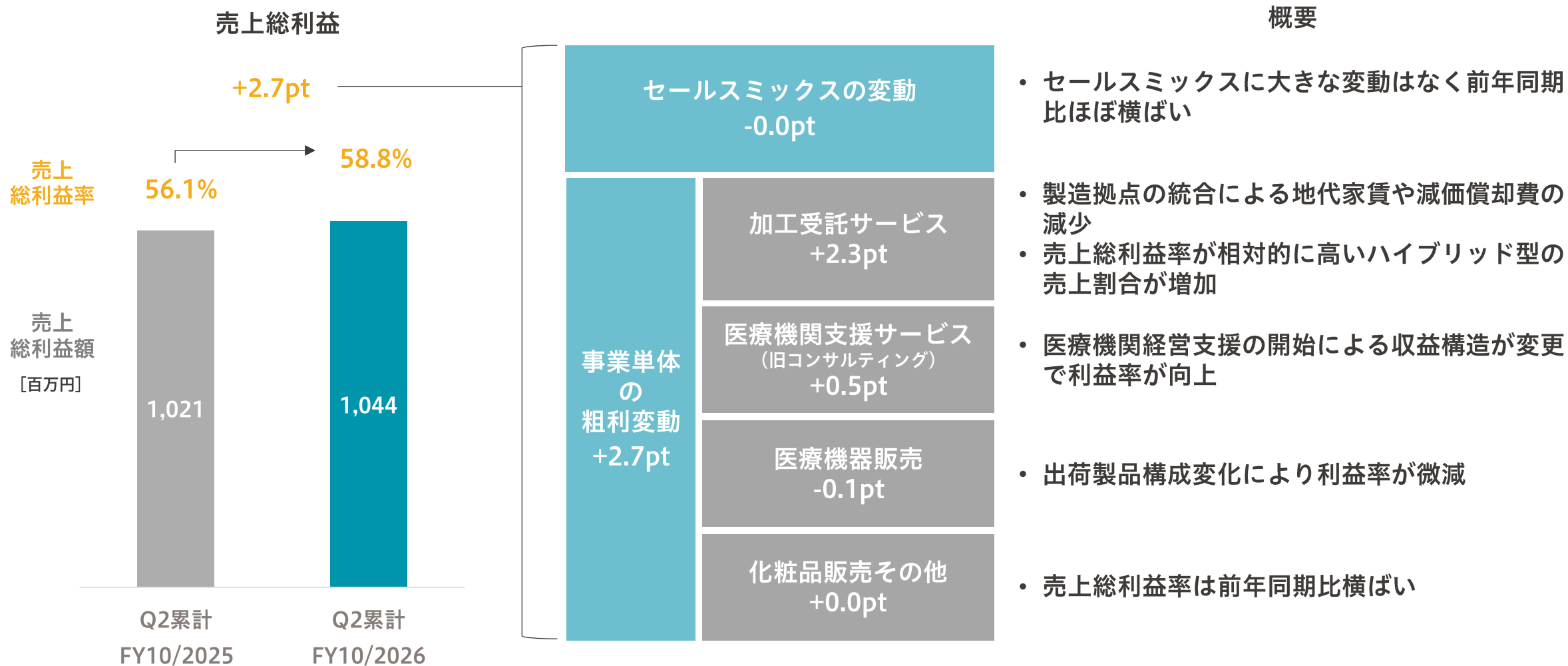


\*1: Q4 FY10/2024計上の滑膜由来幹細胞加工受託サービスに係る契約損失引当金の計上が発生

加工受託サービスにおけるハイブリッド型整形向けおよび  
医療機関支援サービスの売上増により、Q2累計の売上総利益は前期比+23百万円

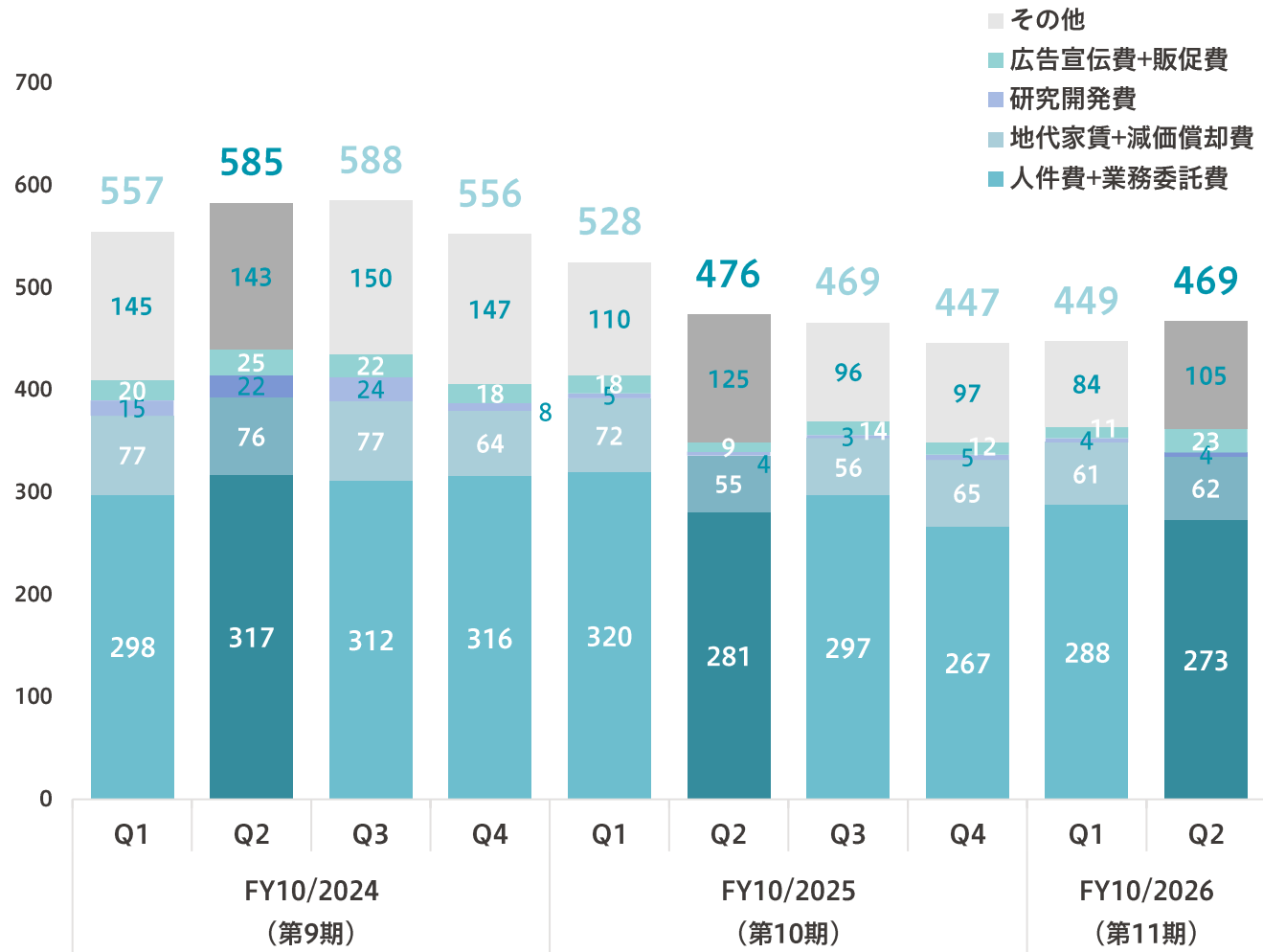


主に加工受託サービスの粗利率改善により売上総利益率は前年同期比+2.7pt改善



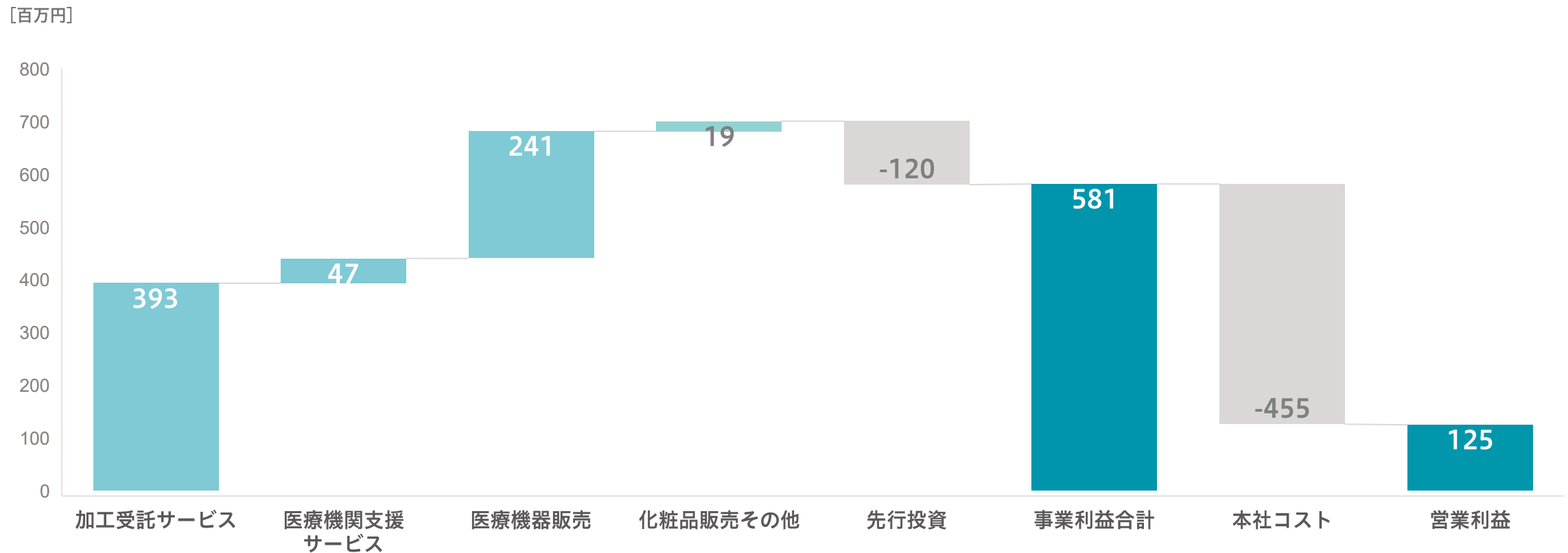
先行投資に伴う広告宣伝費は増加したものの  
 継続的なコスト最適化により累計期間における販管費は前年同期比-8.5%

[百万円]



	前期Q2累計	当期Q2累計	前年同期比
合計	1,004	919	-8.5%
人件費+業務委託費	601	561	-6.7%
地代家賃+減価償却費	128	123	-3.7%
研究開発費	10	9	-12.5%
広告宣伝費+販促費	27	35	+27.3%
その他	236	189	-19.6%

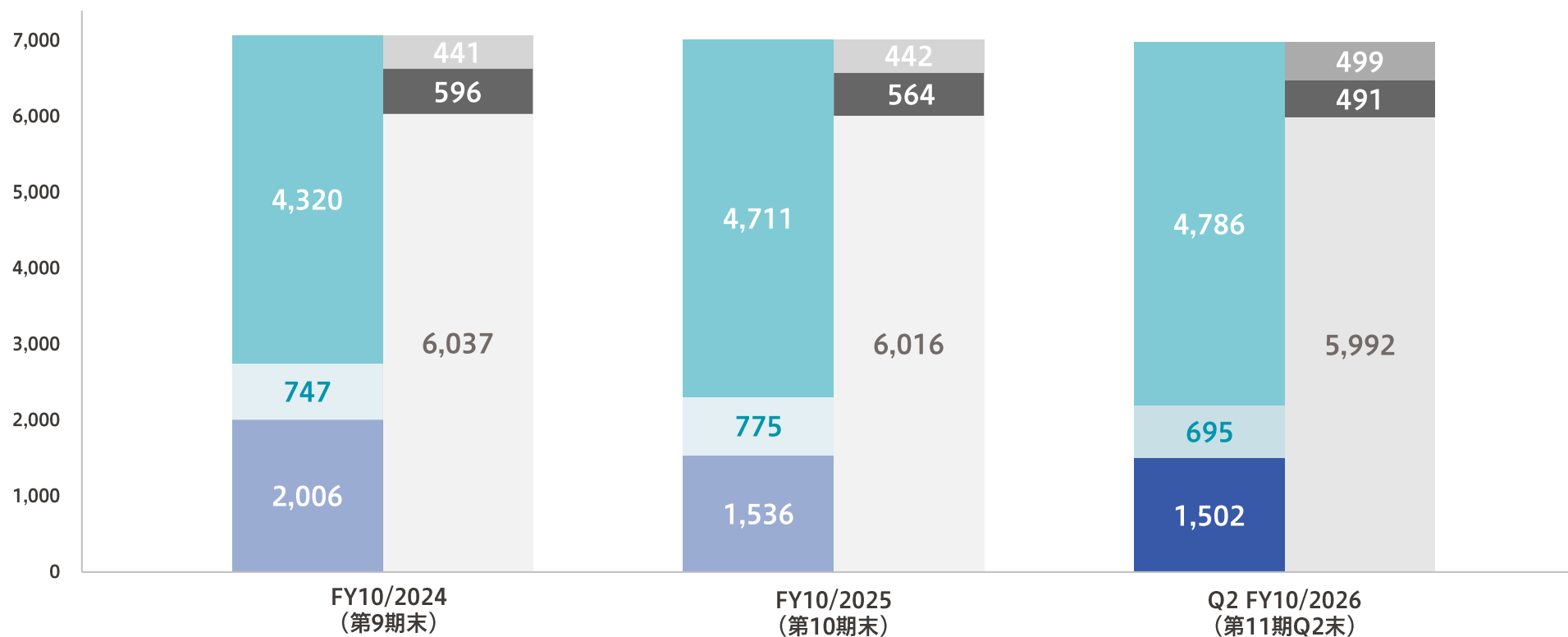
既存事業の収益性を維持しつつ、戦略的投資を計画通り実行



## BS項目はQ2で大きな増減無く、財務基盤は引き続き健全

[百万円]

- 現預金
- その他の流動資産
- 固定資産
- 流動負債
- 固定負債
- 純資産



# 第2部

## 主要施策と進捗

## 施策概要

## 進捗

### 01. 研究開発

- ① 研究開発提携（無血清培養）を通じたASCの品質向上・応用領域拡張
- ② 高品質エクソソーム加工技術基盤の確立

- ① 基礎検証が完了し細胞品質向上・プロセス安定性・培養期間短縮のエビデンスを確認。提携医療機関と臨床適用に向けた規定整備・運用最適化を推進中
- ② 高品質エクソソームの加工技術基盤を確立

### 02. コンシューマー事業：第二の収益柱

- ① 既存ブランドの刷新
- ② 新規ブランドの展開

- ① 保湿力・使用感を刷新したリニューアル品発売（2月）
- ② 睡眠美容ブランド「PAJUU」立ち上げ（4月）

### 03. インバウンド：内なるグローバル化

- ① CPCの信頼性・品質を訴求するプロモーション設計
- ② 事業推進に向けたネットワーク構築

- ① ブランド／品質コンテンツ制作中
- ② インバウンド関連企業・医療機関との受け入れ体制の構築を進める

### 04. 自費診療領域への導入支援

- ① 自費診療パッケージの標準化による早期立ち上げ支援
- ② 理学療法士の介入による診療プロセス高度化・成約率向上

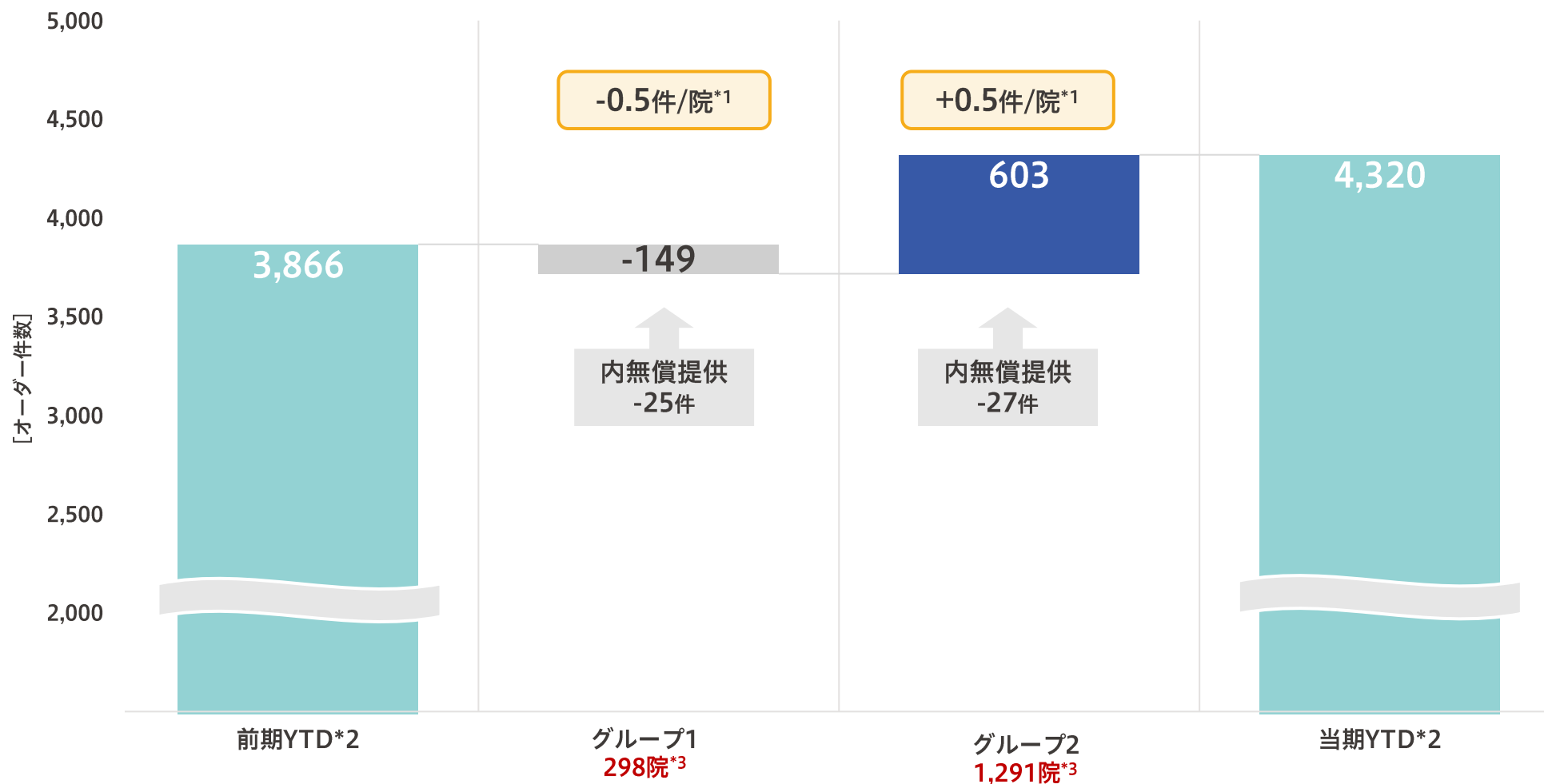
- ① 支援体制の構築完了と運用の本格化
- ② 高度化の一環として理学療法士の育成スキームを構築中

### 05. 自費診療特化型医療機関支援

- ① 集患および成約率の同時改善
- ② 固定費削減、コスト管理体制の構築

- ① Web施策刷新（Ad／SEO）に着手し集患は回復基調。予約率は改善傾向で推移
- ② 固定費削減は概ね完了

グループ2は新規提携院の立ち上げ支援等の推進により前年同期比603件増、全体では同454件増



**グループ1:**  
一定の営業リソースを継続的に投下し、オーダー件数の維持および安定的な底上げを図るグループ

**グループ2:**  
新規提携院に注力し、オーダー件数を強化していくグループ

**無償提供:**  
スポーツチーム等とのメディカルバックアップ契約に基づく提供分

\*1: 対象期間のオーダー件数を\*3の院数で除した値  
 \*2: 前期:2024年11月～2025年4月、当期:2025年11月～2026年4月  
 \*3: 2026年4月末時点の院数

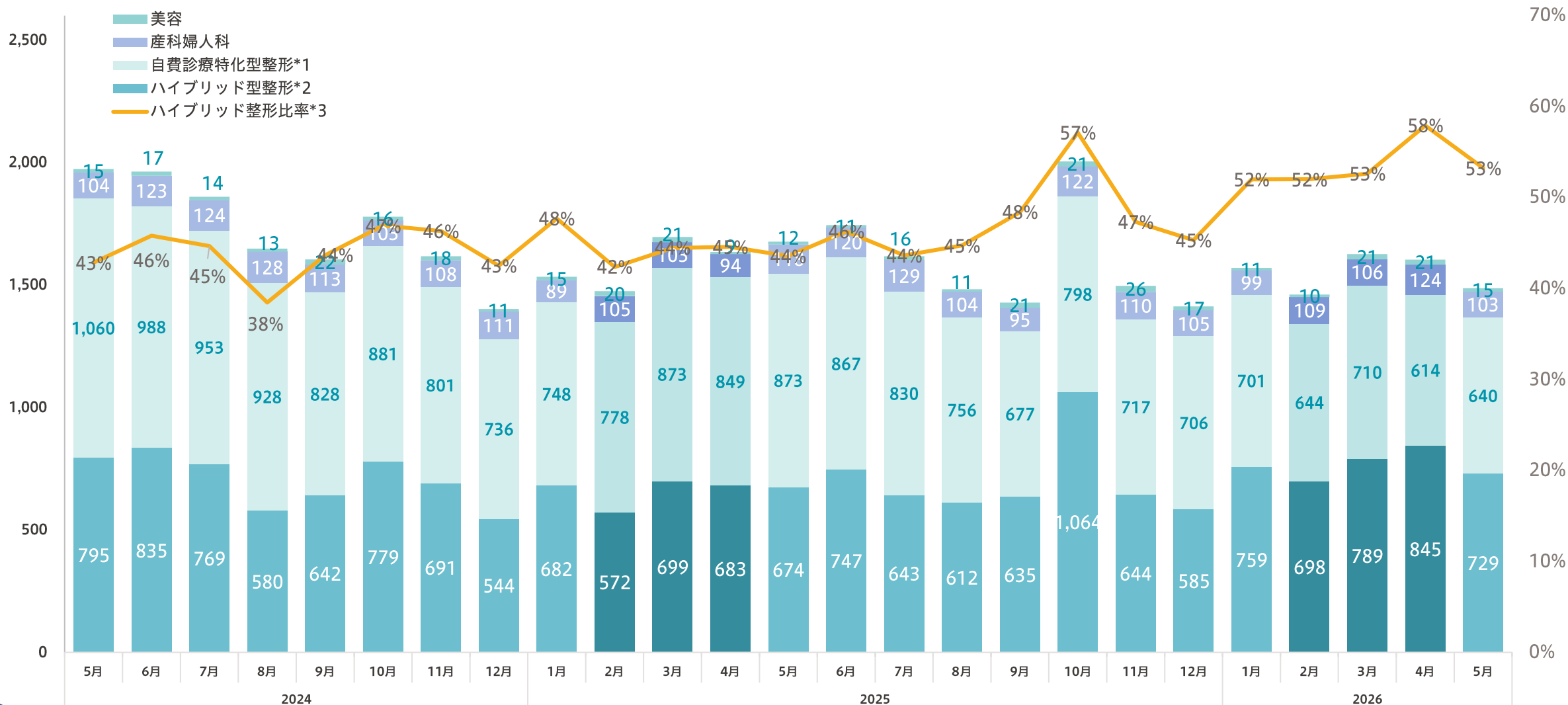
自費診療特化型はオーダー数の減少が続く。  
ハイブリッド型は施策の効果が発現し、オーダー数は増加

	FY10/2025		FY10/2026		FY10/2025		FY10/2026		
	自費診療特化*1		ハイブリッド*2		全体				
	Q2	Q2	Q2	Q2	Q2	Q2	Q2		
提携医療機関数 (院)	15	13	1,421	1,555	1,436	1,568		① 院あたりオーダー数は減少	
×									
アクティブ率*3 (Q)	100.0%	100.0%	34.3%	34.7%	35.0%	35.2%		② アクティブ率は微増し、アクティブ医療機関数は前期比10.7%増加	
×									
アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件/Q)	166.7	151.4	4.0	4.3	8.9	7.8		③ 施策の効果が発現し、上昇基調	
オーダー数 (件/Q)	2,500	1,968	1,954	2,332	4,454	4,300			

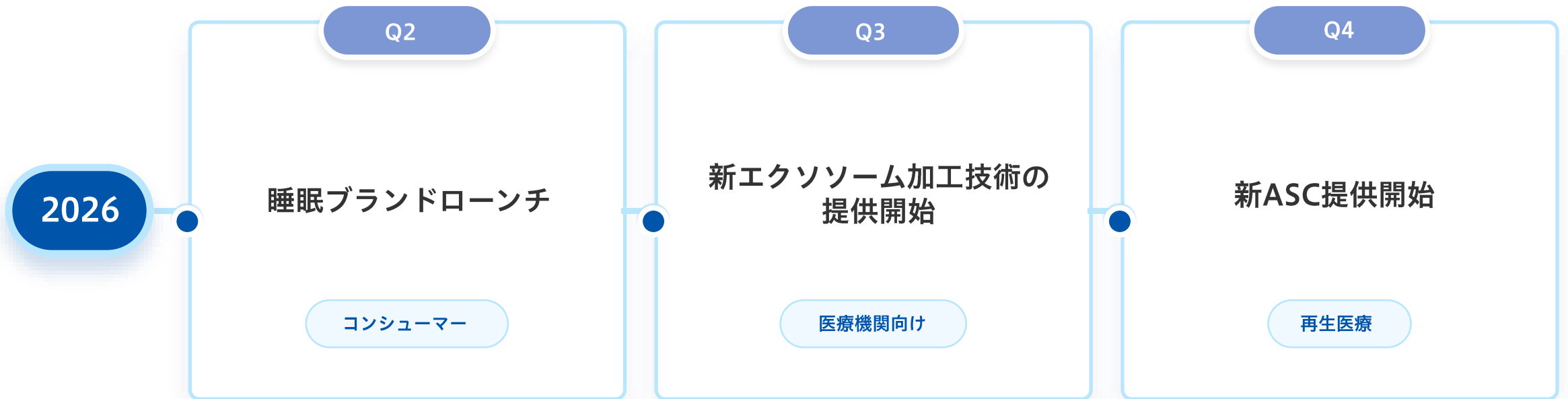
\*1: 自費診療特化型の整形外科のうち、主力のクリニックグループを指す。自費診療特化型医療機関の閉院件数を控除  
 \*2: 整形外科のうち、\*1の自費診療特化型クリニックグループを除く医療機関  
 \*3: 明記した四半期の間に、1件以上オーダーのあった医療機関の比率

[件数]

当四半期累計ではハイブリッド型整形向け受託件数は前年同期比を上回り  
 自費診療特化型整形向け受託件数を超えた。産科婦人科、美容の受託件数においても前年同期比増



\*1: 自費診療特化型の整形医療機関のうち、主力の医療法人グループを指す  
 \*2: 整形医療機関のうち、\*1の自費診療特化型医療法人グループを除く医療機関  
 \*3: 整形領域におけるハイブリッド型整形の割合



\*第10期通期決算資料の再掲

# 各種KPI Appendix

期末提携

医療機関数

**2,183**院  
(前年同期比+166院)

血液由来

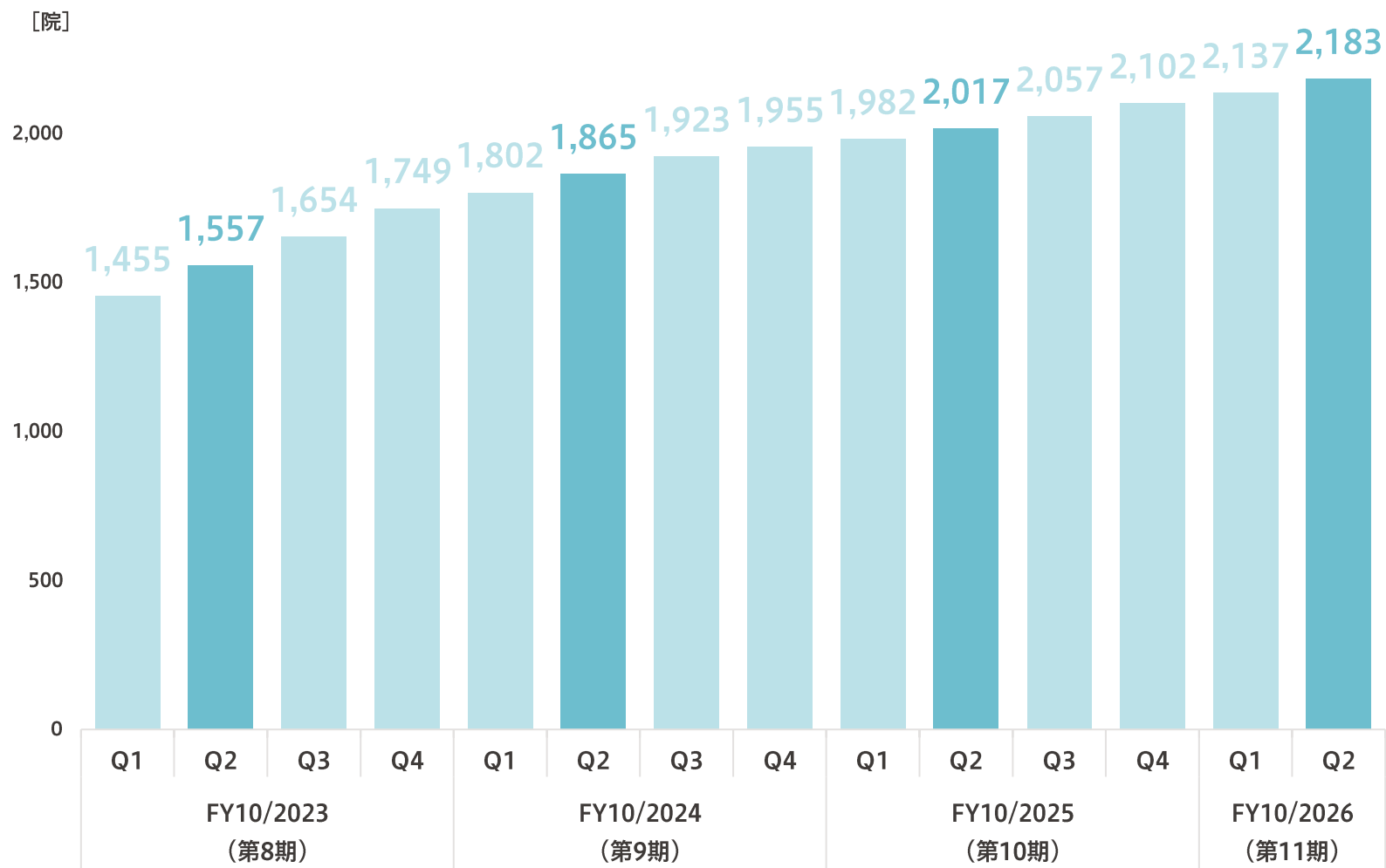
加工受託件数(当期累計)

**9,596**件  
(前年同期比+0.2%)

脂肪由来幹細胞

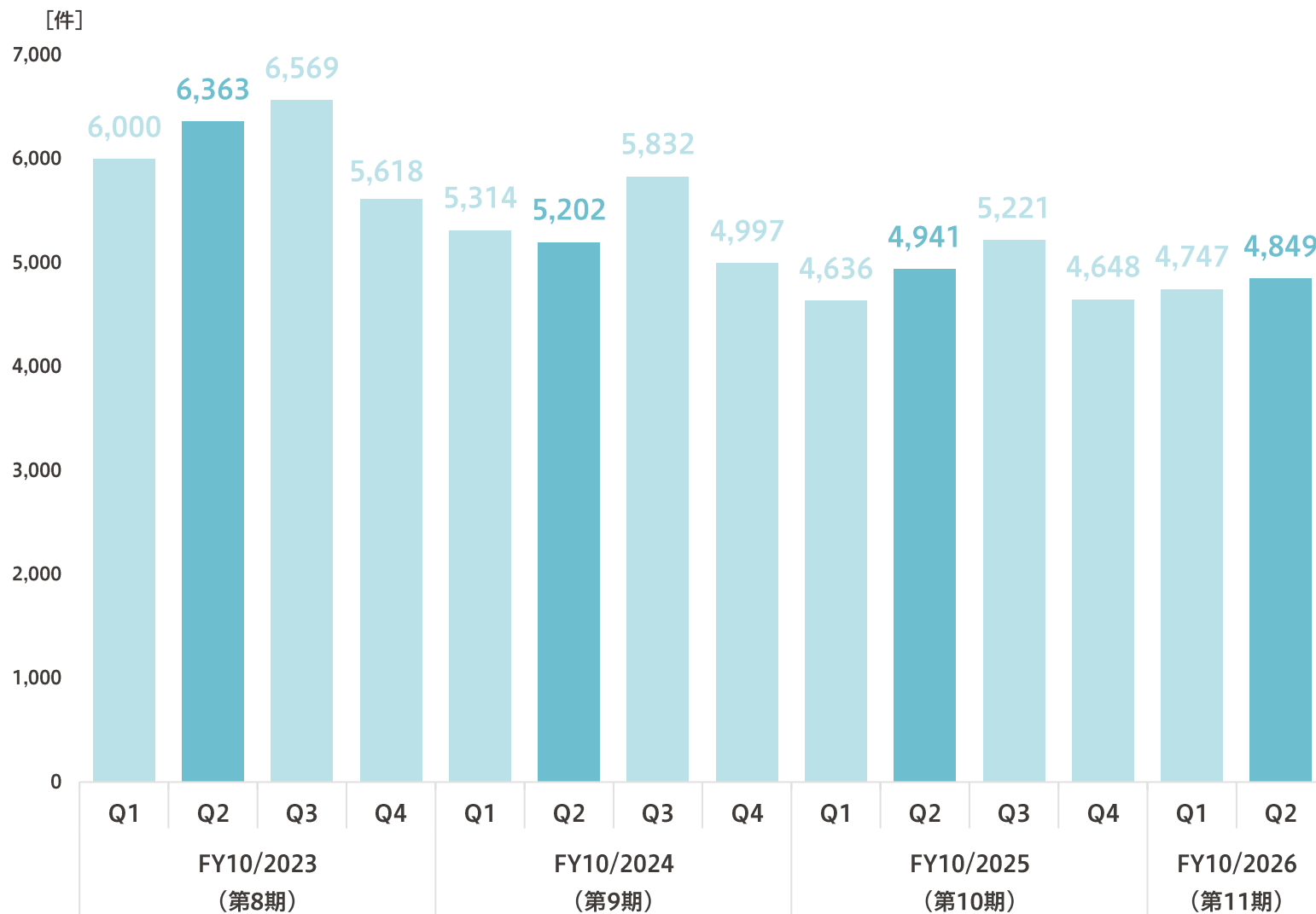
加工受託件数(当期累計)

**518**件  
(前年同期比-28.7%)



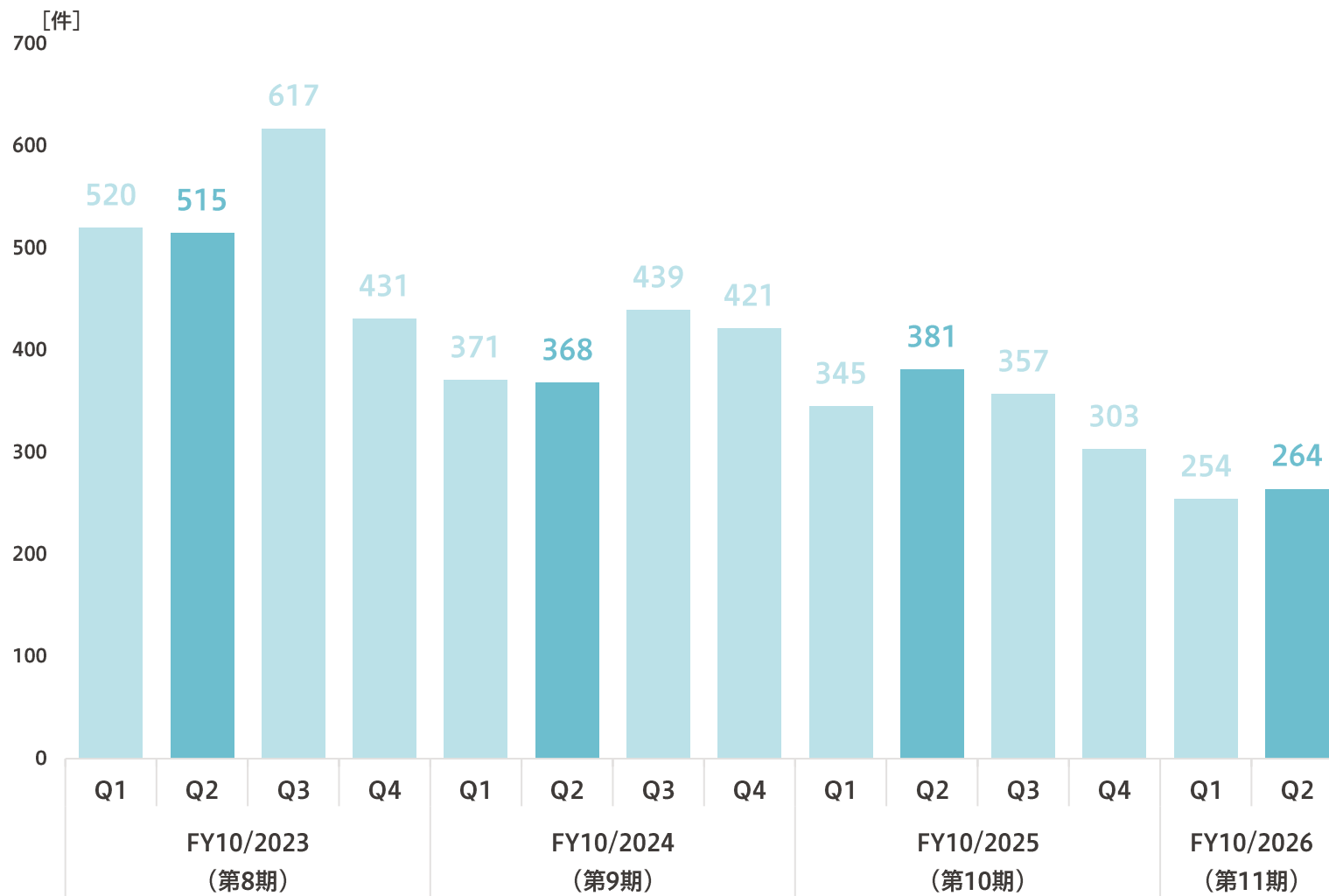
当四半期末 **2,183** 院  
 (前年同期比 +166院)

\*1: 自費診療特化型医療機関の閉院件数を控除



当四半期計 **4,849**件  
(前年同期比 -1.9%)

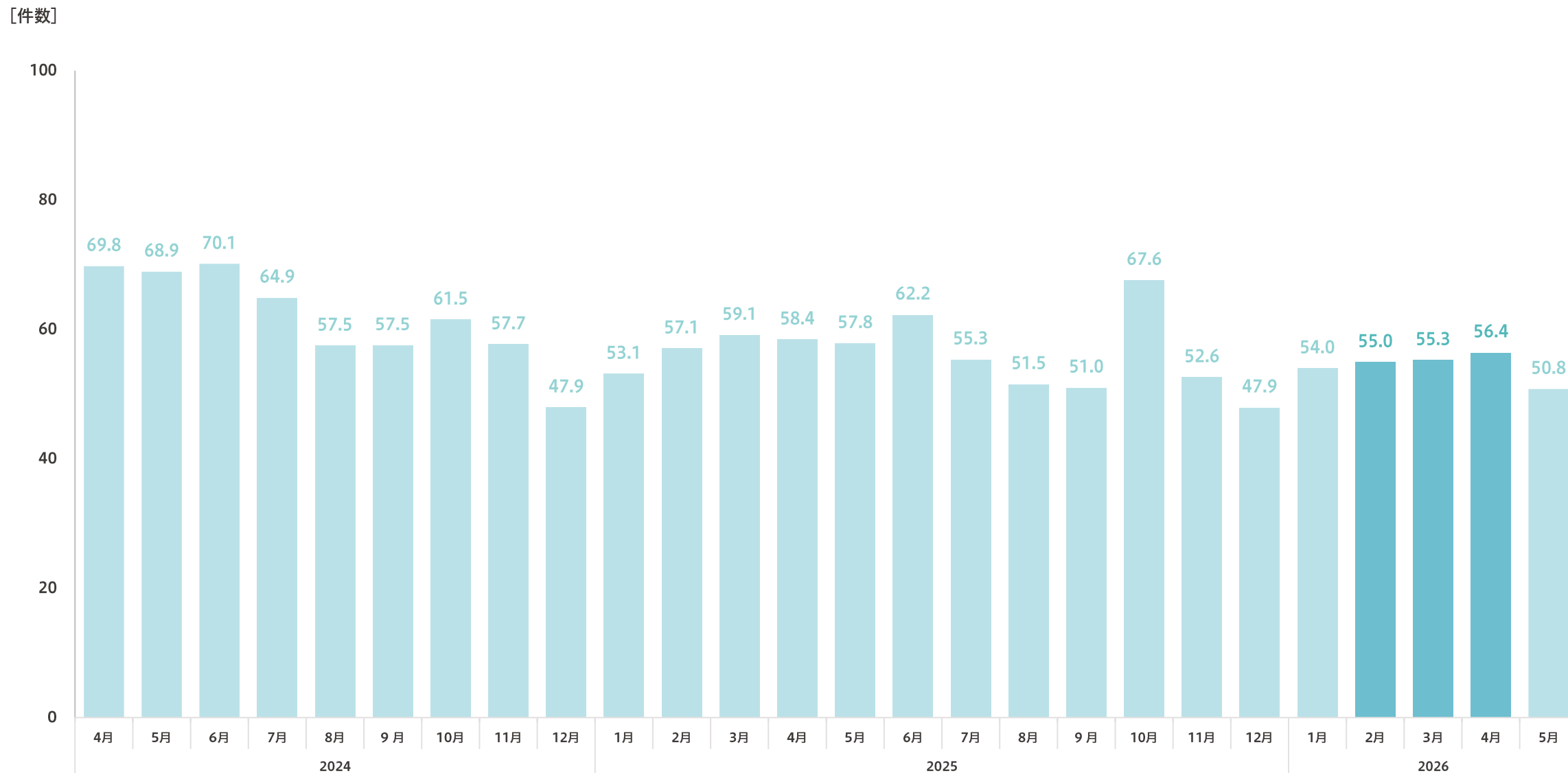
累計 **124,057**件



当四半期計 **264**件  
(前年同期比 -30.7%)

累計 **11,123**件

# 1日あたりの平均加工受託件数の推移



# 血液由来加工受託サービスのオーダー数を構成する各種KPI

		FY10/2025				FY10/2026		Q3/FY2024 ~ Q2/FY2025	Q3/FY2025 ~ Q2/FY2026
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	直近12ヵ月間	直近12ヵ月間
自費診療特化型 *1	期末提携医療機関 (院)	15	15	13	13	13	13	15	13
	アクティブ率*3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	152.1	166.7	197.7	171.6	163.4	151.4	694.7	684.1
	オーダー数 (件)	2,282	2,500	2,570	2,231	2,124	1,968	10,420	8,893
ハイブリッド型 *2	期末提携医療機関 (院)	1,393	1,421	1,454	1,491	1,523	1,555	1,421	1,555
	アクティブ率*3	34.8%	34.3%	35.3%	31.7%	33.2%	34.7%	53.2%	47.9%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	3.9	4.0	4.0	4.9	3.9	4.3	10.9	11.7
	オーダー数 (件)	1,912	1,954	2,064	2,311	1,988	2,332	8,260	8,695
全体	期末提携医療機関 (院)	1,408	1,436	1,467	1,504	1,536	1,568	1,436	1,568
	アクティブ率*3	35.5%	35.0%	35.9%	32.2%	33.7%	35.2%	53.7%	48.3%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	8.4	8.9	8.8	9.4	7.9	7.8	24.2	23.2
	オーダー数 (件)	4,194	4,454	4,634	4,542	4,112	4,300	18,680	17,588

(百万円)	FY10/2024				FY10/2025				FY10/2026	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	1,173	1,054	1,113	1,013	849	971	997	893	860	915
加工受託サービス	664	671	712	694	555	639	680	571	563	553
医療機関支援サービス (旧コンサルティング)	56	62	42	24	21	41	59	60	59	48
医療機器販売	297	188	225	206	218	204	149	184	195	231
化粧品販売その他	154	130	133	87	53	86	108	77	42	82
販売管理費	557	585	588	556	528	476	469	447	449	469
営業利益	205	75	106	-258	-62	79	106	43	59	66
四半期純利益	143	156	74	-136	-45	56	75	-75	33	37

総資産	6,807	6,876	6,864	7,074	6,882	6,941	7,309	7,023	6,892	6,984
純資産	5,960	6,096	6,170	6,037	5,893	5,947	6,094	6,016	5,950	5,992

EBITDA	234	110	145	-206	-5	128	160	98	105	114
FTE*1	208	211	207	204	195	182	187	186	179	158
一人当たりEBITDA (千円)*2	1,129	522	702	-1,012	-26	707	861	527	591	720

加工受託件数*3 (件)	5,685	5,570	6,271	5,418	4,981	5,322	5,578	4,951	5,001	5,113
脂肪由来幹細胞加工受託件数 (件)	371	368	439	421	345	381	357	303	254	264
血液由来加工受託件数 (件)	5,314	5,202	5,832	4,997	4,636	4,941	5,221	4,648	4,747	4,849
期末提携医療機関 (院)	1,802	1,865	1,923	1,955	1,982	2,017	2,057	2,102	2,137	2,183

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、市場環境、法的規制、品質・安全性の確保及び製造体制、特定の取引先、風評リスク、研究開発、広告宣伝戦略、システム障害等が含まれます。



CellSource